

市では、見守り活動を行うための仕組みづくりや環境整備を進め、地域における支え合い活動を推進しています。

## 1. 民生委員による高齢者等の巡回相談

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱されて活動する地域の身近な相談役。一人暮らしの高齢者等の家庭を訪問し、安否の確認や各種の相談に応じています。手稲区では定数の178人が活動しています。

## 2. 福祉のまち推進センターによる見守り・安否確認

住民による自主的な福祉活動を行う組織として、福祉のまち推進センターを町内会等の代表者で構成される地区社会福祉協議会ごとに設置（区内7カ所）。高齢者に対する見守り・安否確認活動やふれあい交流活動などを行っています。

## 3. 民間事業者による見守り

市と協定を結んだ民間事業者が、配達時など業務中に異変や支援の必要な方を発見した際、すぐに対応できるよう、日頃から見守り体制を整えています。

### 協定締結企業

(株)エンパイアー、札幌ヤクルト販売(株)、生活協同組合コープさっぽろ、道新会札幌八日会



## 地域における自主的な見守り活動が広がっています。

地域ではさまざまな形で見守り活動が行われています。多くの町内会が、その町内会ならではの方法で高齢者等の見守り活動を実施。地域の問題解決のために住民自らが工夫を凝らして活動を展開しています。

### 手稲鉄北地区 曙第22(すずかけ)町内会の取り組み

#### 高齢者の引きこもりを防ぐ

地域福祉の推進のために「すずかけ福祉ネットワーク委員会」を立ち上げ、その活動の一つとして、民生委員と町内ボランティアがチームを作り、一人暮らしや日中一人になる高齢者宅を定期的に訪問しています。また、生き生きと暮らしてもらおうと、高齢者サロン「ふきのとう」や高齢者の集い「すずかけクラブ」を作り、現在、多くの高齢者が参加しています。



自分たちの住む地域のために何かできることはないかと考え、活動を始めました。困ったときはお互いさまの精神で支え合っていくことが大切だと思います。

民生委員 小林 久美 さん(中央)  
町内ボランティア 波田野 得子 さん(右)  
町内ボランティア 高岡 洋子 さん(左)



▲訪問活動の様子

#### 支援を受けている方の声

- ・一人で暮らしているので、顔見知りの方が訪ねてくれるととてもうれしいです。(75歳・女性)
- ・何かあったとしても、近くに見守ってくれる方がいると思うと安心です。(78歳・女性)

### 富丘西宮の沢地区 ロピア・エル富丘町内会の取り組み

#### ごみ回収で安否確認

希望する高齢者を対象に、決められた時間までにごみを袋に入れて玄関前に出してもらい、町内会の福祉部の役員や協力員、各棟の班長、女性部員がごみステーションまでごみを運ぶ取り組みを実施。ごみが出ているかどうかで安否確認できる仕組みです。また、そのついでに新聞が取り込まれているかどうかも確認するなど、日頃から異変がないか気に掛けています。



対象者の方からは「助かる」との声がいただけます。また、この活動を始めて、町内会員同士のコミュニケーションも増え、良い関係を築ききっかけにもなっています。

福祉部長 吉田 佳寿子 さん(右)  
協力員 入部 道之 さん(中央)  
協力員 越村 留美子 さん(左)



▲ごみ回収活動の様子

#### 支援を受けている方の声

- ・いつも気に掛け、何か困ったことがあれば助けてくれるので、安心して暮らしていくことができます。皆さんの目配り、気配りにとても感謝しています。(93歳・女性)